

あいち高次脳機能障害 支援フォーラム

～「支えてほしい」と「支えたい」をつなげたい～

日時 2023年11/25(土)

参加
無料

第一部

〈13:00～14:00〉

あいち高次脳機能障害 リハビリテーション講習会



必要とする支援とは

片岡 保憲氏

(特非)日本高次脳機能障害友の会理事長
(特非)脳損傷友の会高知青い空理事長

1999年の交通事故で高次脳機能障害者となった弟を持つ当事者家族。理学療法士。
高知県で高次脳機能障害がある人の支援に取り組んでいる。

(株)FIRST RATE代表取締役。(特非)全国地域生活支援ネットワーク理事
書籍(共著)『僕らはいつも旅の途中』(中央法規)、『高次脳機能障害を生きる』(ミネルヴァ書房)など。

家族・支援者
の立場から

第二部

〈14:15～16:00〉

スーパー座談会

第一部の片岡氏も交えて、発信力抜群の3名がそれぞれの立場で「支援」を語る!

当事者の立場から

鈴木 大介氏

高次脳機能障害を持つ文筆家。当事者がその障害をどのように感じているのかを発信し続ける。代表作に『脳が壊れた』(新潮新書)、『脳コワさん支援ガイド』(医学書院)にて2020年日本医学ジャーナリスト協会賞大賞を受賞。最新刊は『この脳で生きる。脳損傷のスズキさん、今日も全滅』(合同出版)



柴本 礼氏

家族の立場から

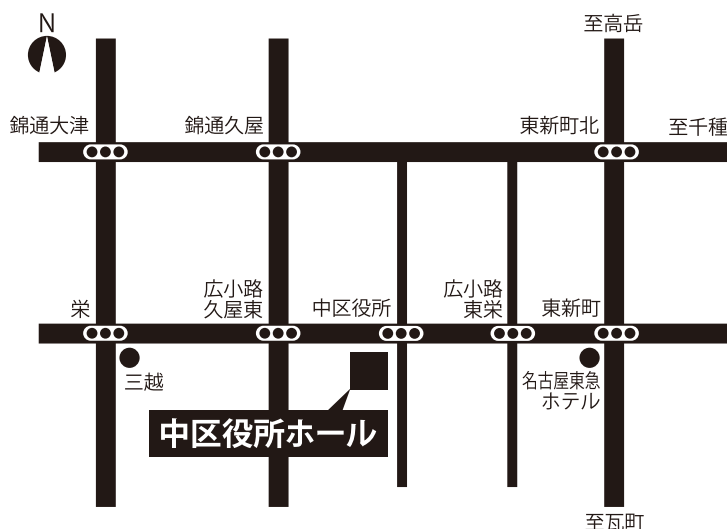
イラストレーター。2004年に夫がくも膜下出血で倒れ、高次脳機能障害を負う。2010年『日々コウジ中』、翌年『続・日々コウジ中』(共に主婦の友社)を出版。ネットでのやりとりを主とした家族会「コウジ村」を主宰。東京高次脳機能障害協議会理事。日本ケアラー連盟理事。



第一部は日本損害保険協会の助成を受けて開催するものです。

第二部は高次脳機能障害及びその関連障害に対する地域支援ネットワーク構築促進事業の一環として開催されるものです。

場 所 中区役所ホール (名古屋市中区栄4丁目1-8 地下2階)



会 場
MAP

交通のご案内

名古屋市営地下鉄
栄駅12番出口より東へ徒歩1分

●参加者用の駐車場はございませんので
公共交通機関をご利用ください。

お申込み お申込み / koujinou-rehab.com もしくはQRコードから



※定員超過により受講いただけない場合は事前にご連絡いたします。
※お申込みに記入いただいた内容は、この講習会以外には使用いたしません。

お申込み締め切り 11月17日(金)

お問い合わせ

あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

〒460-0021 名古屋市中区平和2-3-10 仙田ビル
NPO法人高次脳機能障害友の会みずほ内

TEL/FAX:052-253-6422

E-Mail:npo-mizuho@miracle.ocn.ne.jp

● 高次脳機能障害とは

事故や病気などによる脳損傷で、記憶障害や注意障害などを生じ、社会生活を送ることが困難になることも多い障害です。

外見では気づかれにくいことから「見えない障害」とも呼ばれ、「怠けている」とか「人が変わってしまった」などの誤解を招くこともあります。

● 高次脳機能障害についてのご相談は

なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2(名古屋市総合リハビリテーションセンター内)

TEL.052-835-3814(直通) ホームページ: <https://www.nagoya-rehab.or.jp>

高次脳機能障害 愛知県東部支援センター 笑い太鼓

〒441-8013 豊橋市花田一番町72番地 東和西駅前マンション101号室

TEL.0532-34-6098 ホームページ: <http://www.waraidaiko.org/toyohashi3>

・主催 / あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

・共催 / 愛知県、名古屋市、(社)名古屋市総合リハビリテーション事業団、(特非)高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」、(特非)高次脳機能障害友の会みずほ

・後援 / (予定・順不同) (一社)愛知県社会福祉士会、(一社)愛知県精神健福士協会、(一社)愛知県医療ソーシャルワーカー協会、(一社)愛知県作業療法士会、

(一社)愛知県言語聴覚士会、(一社)愛知県臨床心理士会、(社)朝日新聞厚生文化事業団、(社)中日新聞社会事業団、愛知高次脳機能障害協議会